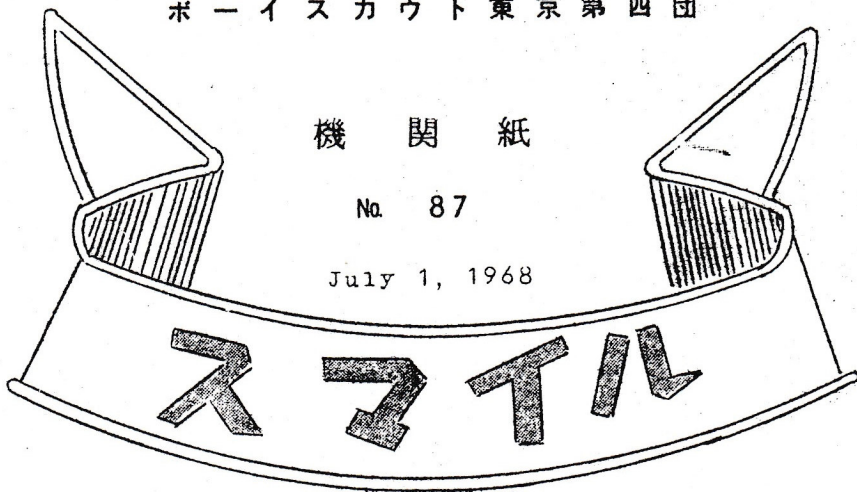


機関紙

No. 87

July 1, 1968



キャンプとスカウティング

団委員長

田中正男

もうすぐ七月、四月に入隊したカブの諸君も、やがてボーイスカウトに進級しようとして  
いる月の輪の諸君も、入隊の喜びと進級の希望に燃えていることと思う。前から在  
隊しているカブ、ボーイ、シニア、ローバの諸君もやがて訓練計画のしめくりとして  
の夏季キャンプを一ヶ月余り後に迎えることになってその計画に忙しく働いていること  
と想う。

私達の教会で教会学校と並んで教会教育の一環としてスカウトを育成しているのは若  
い時から造り主、神をおぼえさせようとするのが主目的であって、余暇の善用とか、  
しつけ教育とかはあくまでも従目的である。スカウトは勿論、その進級の過程におい  
て種々の訓練を受け技能を身につけてゆくが、これらの事は他の団隊でも出来ること  
であって、例えば自衛隊に入隊すればもっと高度の技能まで給料を貰いながら習得出来る  
がスカウティングがそんなことでないことはスカウトならもう十分に承知  
していることである。

私は教会学校が聖書を中心に神の存在を勉強するものとすればスカウトは自然に親し  
むことよって、この自然を支配しているのが神であるということが目的であるように  
考えている。

長年在隊して何回もキャンプを経験した人達のうちにはキャンプが楽しいもので  
あり忘れられぬ思い出になっている人が沢山いると思う。これも勿論結構なことと思  
う。しかし、もう一歩進んで自然の中に神を発見した人は少ないのではないだろうか。マ  
タイによる福音書の六章26節以下には次のように記されている。即ち「空の鳥をみるがよ  
い。まくことも刈ることもせず倉に取り入れることもしない。それなのにあなたが大の  
天の父は彼らを養わなうて下さる。(中略)野の花がどうして育っているか考えてみ  
るがよい、働きもせず紡ぎもしない、しかしあなたが大の天の父は彼らを養わなうて  
下さる。(以下略)」私達の自然を眺める  
眼もマタイ伝を習いた人のようでありたい。私達はキャンプに出るとたしかに都会とは  
異った解放感を味い、又自然に親しむことよって安らかさをおぼえることがある。し  
かし今年のキャンプではもう一歩入って「神共に在ります」という感じを味わえるよう御  
互に努力してみましよう。

物事を計画し、遂行するの忘れてならないのは、PLAN-DO-HECK-ACTIONを回転する」という言葉です。

つまり、PLANは計画をねること、DOはそれは実行すること、HECKは処置すなわち、実行にあたって、計画通り行なわれたかどうか、又反省すること、HECKは、対策、すなわち、HECKに対処して、次には、どういう点を補なって改善してゆくかという事です。私達は一般に、右記の項目に関して、計画、実行、反省までは比較的によく行なわれていると思いますが、次のCHECKが、忘れがちだと思います。つまり準備とその後の対策、整理が大事なものであるという事です。そこで、そういった積み重ねを一步一步する事によって、キャンプ生活をより一層楽しいより快適なものへ、前進させる事が出来ると思います。キャンプの計画、準備は、もうほとんど出来ていると思いますが、もう一つ、あとの実施、反省、対策を忘れないよう心がけたいものです。

夏のキャンプは、スカウト生活から、切っても切りはなせないものですが、毎年行なわれるこのキャンプを、時代の動きと共に

にどんな風に考えてゆくべきでしょうか。一日とキャンプも近づいてきます。今年も日頃の訓練の成果を充分に発揮して活躍されるよう期待します。

x x x

少年隊々長 柳 健 一

まず、「キャンプは人にやらしてもらわなくて、自分自身のキャンプである。」という事を考えて下さい。同時に、「キャンプは、皆との協力のもとに成功する」事を

キャンプシーメンをむかえて

スカウト諸君へひとこと

を考えて下さい。

そして、「からだが疲れても楽しくやってゆける。」事を考えて下さい。それと同時に、「疲れた時にブツブツ文句を云い出す人がいる。」事も考えて下さい。

以上の事を考えてから、少し計算してみして下さい。五泊六日のキャンプは、時間になおすと一四四時間です。これを週二時間の集会になおすと七二回の集会に当ります。つまり一年四ヶ月分の集会を一回のキャンプでやってしまうという計算です。

スカウト諸君にとって、これほど互に親密になれる機会はありません。

そして、開拓と、森と海での生活を楽しく、有意義に過ごせるよう、各班ごとで今から、がっちり計画を組んで下さい。

x x x

年長隊々長 日下部 英 一

キャンプという言葉には、スカウトが集会の仕上げとも云う。夏休みに行われる野営の他に、海岸で海水浴の為のキャンプ、家族で行う両親が中心になるもの、学校のクラブ活動としていわゆる山岳部の行うキャンプ、より高度な技術を必要とする登山家の行うキャンプ等、いろいろあり、行う人々も、準備の仕方もそれぞれ違い、目的も分れていると思います。

そして、同じスカウトにあっても、カブスカウトの舎営、ボーイスカウトの野営(固定野営)、年長スカウトの行う野営(移動野営)、青年隊のより少数で行う巾広い移動野営と違いがあることはよく知っていることと思います。

スカウトが成長して行くに従って、より高度のキャンプ、そしてその訓練から得られる余裕によって、快適なキャンプが行えなければいけないと思います。

年長隊スカウトに於いては、これから高

校生活を終え、自分に責任を持ち、行動できる様なスカウト(多分に年令的な意味もありません)になった時、本当に訓練を受けない人々を指導あるいは、テントの張り方のみでなく、自然を愛する面でも(模範となる様な)野営を行って欲しいと思います。それが、常にユニホームを着ているのと、学校の友人達と行う野営とでも同じ事が云えます。年上のリーダーの居ない野営にはしばしば勇気をはき違えた乱暴なものが多様です。その時同じ年代であっても、しっかり、妥協することのないリーダーシップをとれる様な野営ができる様にこの夏の野営に諸君に望みたいと思っています。

### 各隊キャンプ予定地

- 年少隊 七月二〇日―二四日 西多摩郡羽村町 清流荘
- 少年隊 七月三十一日―八月五日 静岡県伊東市富戸
- 年長隊 八月一〇日―一五日 西伊豆 移動野営
- 青年隊 八月下旬、キャンプ地未定

僕は今……

### 初めて選挙するにあたって

青年隊 鈴木 健

「初めて選挙するにあたって」という題をもらって、僕は、ほとほと困りました。急に言われても、選挙に対する考えなんか何もないので、従って書きようがないのです。どうする事もできないので、僕は、参院選について少し調べてみました。参議院は定員二百五十名で、30才以上の人が立候補でき、任期は6年、ただし3年ごとに半数を改選するとなっております。又選挙の方法は、全国区(一〇〇名)、地方区(一五〇名)とに別れて行われます。又、衆議院と参議院は必ず同時に開会し、閉会し、その会期は共通でなければなりません。衆議院解散中に、国会の議決を要する緊急の必要がある場合に、内閣が召集する参議院の緊急集会は例外です。参議院の国会での任務は、衆議院の専横又は腐敗を抑制するという役目を持っているそうです。衆議院は、参議院に優越し、内閣総理大臣の指名、法律案、予算の議決、条約に対する承認等は、両議院一致の議決を見るようにな

らない場合には、それぞれ一定の要件の下に、衆議員の単独議決をもって、国会の議決としての効力を持つと書いてありました。ようするに参議院は、衆議院の補佐的役割と同時に抑制する役割を持っているようです。早い結論かもしれませんが、そこで参議院になりうる人は、良識と、正しい判断力と、自分に一つの確固たる正しい考えを持っている人でなければなりません。僕はこれらの事を基準に参院選挙に臨もうと思います。それと同時に、僕がもう国家への発言権を持つ事ができる年になったという実感がわいてきました。

☆

☆ \*

☆

☆ \*

☆

☆

## 「OB訪問」

畑 中 俊 彦

今から十年程前、四団に「シースカウト」というものが結成された事がありました。僕は海に憧れていましたから、早速隊員になり、略服の白いセーラー服を着せてもらって、晴がましい気持ちだった事を思い出します。隊の発足前にリーダーが苦心の末、カッターを手に入れて、月島の運河につないで置いたところ、暴風雨で沈んでしまったという話を聞いて、残念がった様な記憶も有ります。

結局「シー・スカウト」では、一度も舟に乗らなかつたのですから、不思議な気がします。

その後、学校のヨット部に入学して、念願の海へ出た訳です。現在僕がクルーを務めている「ミス・ニッポン四世号」は、ドイツのラスマッセン造船所で造られた、マホガニー材のドラゴン級ヨットです。

ドラゴン級は、全長約九米の二枚帆の競走艇です。ヨットレースは定められた時刻にスタートラインを横切つてから、規則を守り帆走し、ゴールに早く入った艇が勝者となるのですが、ドラゴン級の場合、三時

間から四時間位掛ります。

我々の属する日本ドラゴン協会では、春と秋のシーズン中に日曜日を利用して、年間約三十回のレースを主催します。ですから良い成績を残すには、あらゆる条件を乗り越える事の出来るチームの強い団結を必要とします。我々のチームは三名から成り艇長三十六才、一番クルー二十八才、二番クルー二十四才という構成です。年令差の具合が良く、比較的案に仕事の分担が出来るのです。

各自の仕事の分担を簡単に挙げると次の様になります。

艇長の仕事は、舵を操る事、最終的な判断をして命令を下す事です。

一番クルーの仕事は、他の競争艇の動きを見て自艇を有利な位置に導く事。

二番クルーの仕事は、艇長と一番クルーが各々の仕事に専念出来る様に注意をくばる事。及び全ての命令に服する事です。

全ての命令に服する事は、この場合には特に大切な事です。

レース中には、一秒間方向転換が遅れた為に競争相手に抜かれてしまう事や、一秒間方向転換が早すぎた為に事故が起る事が良く有ります。ですから、その中間にある

一番適当な一瞬間に方向転換を行えなければならぬのですが、その為には三人の気持と、三人の行う決められた動作がびたりと合わなければならぬのです。

人間は同じ目的に向って行動を起してもその行動の形は人により違うものです。

ですからクルーは艇長から命令を受けた場合、自分だつたら別の方法を取るのだがと考へても、その考へは一度捨ててしまうのです。そうすれば難しい作戦も成功するのです。もし失敗した場合には、改めて自分の意見を艇長に示し、艇長の判断を待つのです。

この他に、僕は時々外洋帆走協会の主催する外洋レースに参加する事も有ります。

これは、内部に寝台、台所、便所まで備えた大型クルーザーに乗って、八時間から時には七十二時間も掛けてレースを行うのです。三浦半島の小網代湾から、熱海の沖の初島や、大島を廻って帰るレースも、楽しいものです。

僕の乗組む「潮風三世号」は、六人から九人でレースに出る様に設計されていますから、全員の気持ちがいよいよ近づいていなければレースには勝てません。強い風の時には、人の声は波に打消されてしまいます。

本当に良く訓練されたクルーは、艇長の命令が下る前に、艇長の考えを知っていてその時自分がどの様な役割を果したら良いかを知っているものです。

特に団結が必要になるのは、天気が崩れたり、事故が起きたりした時です。そんな時に仲間と無言のまま、迅速に処置を取り危機を脱した時に、僕は一番強くヨット乗りである事の幸せと、良い仲間を持った喜びを感じます。そんな時に大自然の大きさと、人間の小ささと、同時に人間の大きさを感ずるのであります。

スカウト諸君も小人数の家庭という舟から学校とか、隊という大きな船に乗り組み、その上将来は職業を持ち、社会の荒波を乗り切らなければならぬ訳です。

「キャンピング」「縄結び」「手旗信号」等の訓練は、全てその時に別の形に実を結ぶはずで、僕はその意味でスカウト活動に大きな期待を寄せるものです。

現在リーダーとして御活躍の人々に、声援を送ると共に、スカウト諸君の元気な姿に「弥栄」を叫びます。弥栄、

○ 畑中さんは、大島、柳、日下部隊長と同期のスカウトで、現在は室

内装飾のお仕事で活躍中です。又ヨットの選手としてメキシコオリンピックに参加される事になるかもしれないとの事です。ガンバレ

### 考えよう 自由について

少年隊副長 大内 丘

自由とはいいいいものだ。これを否定する人はいないと思う。思想の自由、信教の自由、恋愛の自由などは現在享受しているし、これからも保障されるべきものである。

しかし、自由が総てよいものであるとは限らない。一例をあげてみれば、殺人の自由などは絶対に認めてはならない自由である。このように、自由というものにも、勝ち取り、守っていくべきものと、排除していかねばならないものと二通りあることは確かかなことである。

この二通りの自由は、何を基準として区分されるかといえ、対人関係ひいては社会を規定する階級間の関係に求められるの

ではないであろうか。

では、自由とはどうあるべきかを考えるために、いくつかあげてみよう。古代奴隸制社会において、奴隸主の持っていた自由の範囲は、我々のそれより広かった。すなわち、自分の奴隸を殺す自由までを持っていた。これは自由を何ら持っていない多数の奴隸の犠牲の上に、少数の者が自由を享受している状態である。中世封建制社会においても、領主は自由を持っていたが、より多数の農奴は殆んど持っていないに等しい状態におかれていた。

以上大雑把に自由の歴史を見てみたが、ヘーゲルはこのことを「自由の意識とその進歩が世界史の内容となる」といって世界史を自由という側面から規定している。

言い換えてみると、二つのことが言える。第一に、時代が進むにつれて自由の範囲が変ってきたという質的側面の問題である。結局、自由は他人に犠牲を強いたものではないということである。だからこそ、前にも触れたように、二通りの自由の区別が対人関係、階級関係に由来するということが、意味を持つのである。第二に、量的側面の問題であるが、自由な人間は歴史上いつの時代にも存在した訳である。そして

時代が下るにつれて、自由な人間の社会全体に占る割合が大きくなってきているのである。要するに自由の意識がだんだんと滲透していく過程である。

さて、以上のことより解るように、理想状態における自由とは、その社会を構成する人々が皆等しく持てるものでなければならぬ。しかも、他人の犠牲を全く伴わない自由でなければならぬのである。

それでは、現状を考えてみよう。私のみるところ現状はまだ理想状態からほど遠い。それ故に、我々は真の自由を勝ち取るために未来にむけて絶ゆまざる努力をしていかねばならない。

年長隊 松野光成

僕にとって、古いことより、これから先未来のことよりも、現在のことを重く見て了う。これは一概には言えないことだろうが、人間にとって行動する時によく考えて計画を細かくたて、それに従って進んで行く、今はこの様な事が多すぎるのではないのでしょうか。

計画をたてない旅行をしてみるとか無人島で時間のない生活をするとか、そればかりでは逆に嫌になるかもしれないが、たま

にその様な行動をとるのもいいものです。現在、僕自身がこうして生きている、これは素晴らしいことです。

現在を大事にしていく事が、未来をまた悔いのない昔を思うことができるのではないのでしょうか。

拝啓 B S 殿

G S リーダー 黒部 峰子

四団のブラウニーに通いはじめた頃は、まだ五・六人でした。それが今では、三十二名にもなり、それでもまた入団希望者が多勢。このように団がスカウトが大きくなる事は、素晴らしいと思います。そしてとくに、四団は素晴らしいと、あちらこちらでいわれる団に成長している事に、喜びと責任を感じます。でもその中で時々ふと不安を感じるので、それは、人数が多く団が大きくなるにつれ、時として誰かが手をぬいても何の支障もなく事が運ばれてしまうことがあるからです。

又、友人の選り好みをしたり。その様な時、まじめで、機転のきく、誰とでも仲良

く出来る思いやりのあるスカウトを養成しなければいけない。それ以上に、自身そうなる様努力しなければいけないと、改めて、責任を感じるのです。

誇大〇〇

A 「何だお前その傷？」

B 「スマイル見せないって」

G S に袋だたきされたんだ」

新リーダー紹介

年少隊デンマザーの中野啓子さんは、お勤めのために三月いっぱい退任されました。又、野口美智子さんは米國留学のため、キャンプ終了後退任されます。お二人に代ってお手伝い下さる方は……

田中万里子デンマザー

国立音楽大学、教育音楽科二年  
田中団委員長のお嬢様です。

原 真知子デンマザー

清泉女子大学 スペイン語科一年  
弟さんも四月からカブに入隊。

## 伝統とスカウト活動

三谷 八重子

今から丁度二年前の七月一日に、住居表示の改正があり、第四団誕生の地でもある霊南坂も御多聞にもれず、昔の面影もとゞめない無味乾燥な符号になってしまったのは誠に残念なことです。住居表示改正に対して、各地で反対運動があったことは、周知の事実ですが、特に長く霊南坂に所在する米国大使館が、霊南坂の名の消えるのを惜しみ、館内に地名を偲ぶ碑を建てたということが新聞に報じられていましたが、この事は霊南坂の長い歴史をきわめて象徴的に示していると思います。帝国ホテル、旧三菱本館等古い伝統を持つものが次々に消えてゆく事が問題となつていますが、建物の保存、移転には莫大な費用を必要とするので、それ故保存は不可能という理由は、一応納得は出来ません。しかし住居表示の改正に莫大な費用をかけてまで、何故伝統ある地名を棄却するのか誠に不可解なことです。現在日本は高度の経済成長を遂げ、多少の不況は経験しても今後益々の発展が予想されていますが、この高度成長という美名のもとに、形式的な合理性だけが追求さ

れる余り、本質的なものが失われて行くことは大きな問題だと思えます。最近の歴史と伝統に対する無関心振りは、はなはだしい限りです。これは日本人にとって大きな損失ではないでしょうか。何故なら世界一の強国であり乍ら、歴史伝統のないことで米国人はこれに強い憧れを持っています。真の合理性追求は、事実を正しく把握することであり、これは歴史伝統を正しく評価することと何等の矛盾はありません。歴史伝統を重んずることは、人間の情操教育に不可欠のものと思われれます。現在、昭和元祿と云われ、自由と平和を享受し乍ら、大衆騒動、フーテン族等その他多くの世相の乱れは、価値観の不安定さ、ひいては、伝統の否定に大きな要因があると思えます。由緒ある霊南坂教会で培われた第四団の充実した雰囲気の中でカブの活動にいそしめることは、今後の子供の成長にとって何より大きな実りとなってあらわれることが期待出来ます。この良き伝統を尊重し、それをひろめ更に次の世代に伝えることが子供のカブに入団した何よりの大きな意義であり、そして可能性に満ちた二十一世紀にたくましく息吹いて欲しいと思つて居ります。

(年少隊父兄)

— 無責任「十の質問」 —

○日井少年隊副長の巻

1. 好きな色は？  
紺だとか緑
2. 今でもテストの夢を見ますか  
しょっちゅう見るよ
3. 漫画好きですか  
大好き
4. 愛読書は何ですか  
化学小説だとか……
5. 耳を動かせますか  
動かせないよ
6. 真自面人間ですか  
ウン、真自面
7. 恋人は何人いますか  
ただいま——ただいま0人
8. 外国に行きたいですか  
行きたい、南太平洋あたりに
9. 女の人なぐった事ありますか  
ない
10. 大切なものは？  
何だろう……学校の生活ネ

報告

團会議 五月十八日 出席者 十二名

一、各隊行事報告（含、キャンプ予定地

報告）

一、団所有のキャビネット利用の件

七月十三日までにスカウト個人記録をまとめ、ファイルする。

一、指導者研修会の件

G S、B S指導者合同研修会で八月二十四日―二十六日まで藤沢市緑ヶ丘ユースホステルで行う。

一、英会話勉強会の件

少年隊、年長隊を対象に、一九七〇年日本で行なわれるボーイスカウト世界大会にそなえて国内で英会話の勉強会を開いたらどうかの提案があったが未決。

團委員会 五月二五日 出席者十七名

一、各隊行事報告

年少隊、十四周年記念式典（六、十五）年長隊、十勝地震募金

一、教会各部指導者協議会がもたれ教会とスカウトの関係なども話し合われた。

一、六月二九日行われる春のバザーは夏期キャンプ費補助のためとする。

團会議 六月八日 出席者 九名

一、各隊報告

一、合同キャンプファイアー 担当はローバーに決定

一、団名簿の件

九月第二土曜日締切り、第四土曜日発行予定 担当 白井

一、登録の件

毎年十二月に団委員の中より登録委員を選出し、一月継続申し込みをとり三月連盟に登録

團委員会 六月二二日 出席者 十四名

一、会計中間報告

現状では、各隊へのキャンプ補助金、その他備品費補助等かなり困難であるため、昨年始められた賛助会員（二十名）の継続等も含めて新しい会員の開発が必要とされている。

一、賛助会員関係委員会設置

第一回七月四日 担当 今井団委員

人事往来

スカウトとして又、リーダーとして長い間四団で活躍なさった大浜良友青年隊副長はアメリカへ留学されました。

編集後記

僕は短期で怒りん坊であります。二、三年前までは集会の度に腹をたてていました。今でも、かなり腹をたてる方だけれど、昔なら烈火の如く怒った様な事も面倒臭くったり、必要以上に相手に気をつかったりして怒らない事が多くなりました。人は、人間がねれてきたと云いますが、要するに、すれてきたのであります。(X)

本人がこう自己分解してきますので、特にスマイルの事で被害をこうむった方は、より深い理解のもとにより一層のご協力をお願い致します。キャンプを控えて、ふさわしい原稿をいただき有りがとうございました。又O Bの畑中さんから夏にふさわしいダイナミックな原稿をいただきホクホク。無事故で素晴らしい夏をお過ごし下さい。(Y)

雨が降って団地の下の川があふれて、とうとう編集会議にも出られずじまい。みなさんお元気で。(Z)

スマイル
発行日 昭和四十三年七月一日
発行人 田中正男
編集人 杉原正
発行所 港区赤坂一―三―一六
日本ボーイスカウト東京四団